

## 6次産業化部門

新潟県村上市 有限会社夢ファームあらかわ  
(代表取締役：三田<sup>さんた</sup>敏秋<sup>としあき</sup>氏)



- 経営規模：37.6ha（水稲37.4ha、いちご0.2ha）、作業受託1.8ha

(注) 数字は令和2年当時のもの

## 経営展開のポイント

- ・ 圃場整備事業を契機に集落内有志5人で機械共同利用組合を設立し、平成14年に法人化。
- ・ 需要に応じて複数品種の米を生産・販売しており、地域のブランド米の「岩船米コシヒカリ」も生産・販売。集落内の畜産農家との耕畜連携を25年以上継続しており、水稲作付圃場のほぼ全域で堆肥を散布。顧客の要望に応じ特別栽培米も生産するなど、高品質・良食味米を消費者・実需者へ直接販売。
- ・ 米の食味・品質への顧客の評価が高く、増加する需要に対応し、集落内外の一定水準を満たした岩船米生産者からの仕入れ販売も行っており地域全体の収益向上に貢献。
- ・ 平成17年にもち加工部門を新設し、自社産「こがねもち」を原料とし、保存料などを一切使用しない伝統製法で作ったもちを地元を中心に販売。地域の生産者の要望を受け、加工受託も実施。
- ・ 法人化とともに観光いちご園を開設し、新潟県オリジナル品種「越後姫」を栽培。地元の幼稚園や老人ホーム等の収穫体験を受け入れるとともに、地域の観光スポットとして定着。地元観光業者との連携、ネット予約サイトの活用など、県内外から積極的に集客。
- ・ 今後は、地元酒造会社や菓子店と連携・協力しながらいちごの加工品開発や販売に取り組み、観光農園への誘客につなげるとともに、農園周辺が集落・地域の人々が集える「憩いの場」となることを目指している。